事業番号	08　01　03	事業改善シート（令和６年度実施事業分）	□当初要求　□当初予算案　□補正予算案　■点検

事　業　名	観光業における受入環境向上事業	部局	観光スポーツ部	課・室	山岳高原観光課、観光誘客課
		実施期間	H24　～	E-mail	mt-tourism @ pref.nagano.lg.jp

1　現状と課題

・多様化する観光客のニーズに対応するため、観光人材の資質向上や本県の観光資源を活かした新たな魅力の掘り起こしに継続的に取り組んでいくことが重要
・コロナ収束による観光需要回復に伴い、観光業における人手不足感は再び高まっており、観光業への就業促進や労働生産性の向上に向けた取組が必要

2　事業目的

観光人材の資質向上や観光業への就業促進、生産性向上を図るとともに、信州ユニバーサルツーリズム、サイクルツーリズム等、本県の観光資源を活かした新たな魅力の掘り起こしを通じ、暮らす人も訪れる人も楽しめる観光地域に向けた受入環境づくりを推進する。

3　事業目的を達成するための取組

①観光業における人材確保・人材育成の推進
・観光業が持続可能で稼ぐ産業へと発展するため、市場変化への対応や人材定着のための労務改善等に向けた人材育成プログラムを実施
・観光業の人材確保を後押しするため、学生等に対する観光業の魅力を生かしたインターンシップを実施

②信州ユニバーサルツーリズムの推進
・信州ユニバーサルツーリズムの受入環境づくりを進めるため、信州大学と連携し、ユニバーサルツーリズムに係る専門知識を持つ人材の育成や、県内特別支援学校等と連携した学習旅行の実証事業を実施
・ユニバーサルツーリズムの実施に要する専門機器等の導入に対する補助を実施

③Japan Alps Cyclingブランドの構築
・県内でサイクルツーリズムの推進に取り組むJapan Alps Cycling プロジェクトとの連携により、総合サイト「Japan Alps Cycling」による情報発信や県１周ルートのＰＲのほかナショナルサイクルルート指定にむけた官民連携組織の立ち上げを実施

(信州ユニバーサルツーリズム)

(サイクルツーリズム)

4　成果指標

（推移の凡例　↗：改善　↘：悪化　→：変化なし　―：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度 実績	R5年度 実績	R5年度 推移	R6年度 実績	R6年度 推移	R6年度 目標値	達成状況	目標値設定理由
①	持続可能で稼ぐ観光業に向けた取組を進める事業者数	者	―	81	―	172	↗	100	達成	過去の類似事業の参加実績を踏まえて、全５回のセミナーに平均20者の参加を目標として設定
②	ユニバーサルツーリズム専門人材数	人	7	15	↗	6	↘	13	未達成	事業者のニーズを踏まえ、R5年度の受講者数(見込値)の同程度の増加を目標として設定
③	サイクルツーリズムを地域で振興する人材育成の講演回数	回	2	2	→	2	→	2	達成	過去の人材育成プログラムに対するR5取組実績を踏まえ、同程度の取組を目標として設定

5　本事業が貢献する総合５か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近３か年の状況 年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	目標 年／年度	数値
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	☆観光消費額	億円	2022 (R4)	6,023	2023 (R5)	8,549	2024 (R6)	10,047	2027 (R9)	9,000

6　事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額 前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計（予算現額）	うち一般財源	決算額	職員数
R6年度	15,940	21,678	91	37,709	13,769	37,709	6.0
R5年度	0	21,929	15,940	37,869	19,929	21,410	6.0
R4年度	0	15,108	0	15,108	14,858	14,001	6.0

事業番号	08　01　03	事業改善シート（令和６年度実施事業分）	□当初要求　□当初予算案　□補正予算案　■点検

事　業　名	観光業における受入環境向上事業	部局	観光スポーツ部	課・室	山岳高原観光課、観光誘客課

7　主な取組実績と成果

①観光業における人材確保・人材育成の推進

・持続可能で稼ぐ観光業の実現に向けた観光人材育成プログラムとして、「人材獲得」や「DX推進」等をテーマとしたセミナーを５回開催し、172名が参加。

・観光人材の確保に向け、宿泊(接客)、DMO、ガイド等複数の観光関連業種が体験できるインターンシップを県内３地域で開催し、県内外から25名が参加。

・宿泊業の人材確保・業務効率に向けたモデル事業を２地域(松本市、野沢温泉村)において実施。専門コンサルタントによる伴走支援を通じ、事業に参加した宿泊事業者(13施設)において求人方法や従業員の負担軽減等の改善策を実施・推進。

②信州ユニバーサルツーリズムの推進

・信州大学と連携し、ユニバーサルツーリズムに係る専門知識を持つ人材の育成講座(参加者数８名)や、特別支援学校等と連携した学習旅行の実証事業(参加校数７校)で実施。

・アウトドア用車いすや牽引器具等ユニバーサルツーリズムの実施に要する専門機器等の導入に対する補助事業を実施(補助実績１者)。

・信州ユニバーサルツーリズムに取り組む地域を拡大するため、県内２か所(東御市、野沢温泉村)で、県内先進地の取組等を紹介する普及セミナーを実施。

③Japan Alps Cyclingブランドの構築

・関西最大級の自転車展示会「サイクルモードライド大阪2025」に出展し、長野県一周ルート「Japan Alps Cycling Road」をはじめとする県内サイクルコースのPRを実施したほか、ナショナルサイクルルート指定に向け、市町村等関係者や有識者への意見聴取を実施。

・サイクリングガイド育成のため、知識やガイドスキルを学ぶ講習会を２回開催し、９名が参加。そのうち６名が日本サイクリングガイド協会公認のサイクリングガイドの認定を受け、地域でサイクルツーリズムを振興する人材の確保・育成を実施。

8　成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	持続可能で稼ぐ観光業に向けた取組を進める事業者数	R5年度推移	―	R6年度推移	↗	達成状況	**達成**
事業者の関心を踏まえ、自社の分析を行う基礎講座と、具体的な課題解決策に焦点を当てた応用講座の２段階構成のプログラムを提供する等企画内容を工夫するとともに類似事業参加者への周知等、様々な集客手法を組み合わせたことで目標を達成した。							
指標 ②	ユニバーサルツーリズム専門人材数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↘	達成状況	**未達成**
ユニバーサルツーリズムのすそ野を広げるための普及セミナー開催やWEBでの情報発信を行ったが、参加の目標数には届かなかった理由として、ユニバーサルツーリズムに対する県内観光地の関心度合いに差があることが要因の一つと思料。							
指標 ③	サイクルツーリズムを地域で振興する人材育成の講演回数	R5年度推移	→	R6年度推移	→	達成状況	**達成**
日本サイクリングガイド協会との講座内容の検討や参加者の募集等を計画どおり実行できたため。							

9　今後の事業の方向性

(1) 上記７、８及び県民の意見等を踏まえた課題
①観光業における人材確保・人材育成の推進 ・インバウンド需要の高まりに応じて観光需要が回復する一方、宿泊業は人手不足により稼働率を下げざるを得ないとの声もあることから引き続き人材確保とともに限られた労働力でも稼ぐことができるよう生産性の向上に向けた支援が必要。 ②信州ユニバーサルツーリズムの推進 ・専門人材の育成や専門機器導入に向けた支援を平成30年から継続的に実施してきているが、地域の取組の状況や意欲に差が生じてきているため、市町村等の理解を促し、取組地域の拡大を図っていくことが必要。 ③Japan Alps Cyclingブランドの構築 ・全長800kmを超える長野県一周ルート「Japan Alps Cycling Road」や地域毎のサイクリングロード上における魅力・多様性を最大限活用できるよう、上級者～ビギナーといったルート上のターゲティングの整理や幅広いユーザーに向けたサイクルツーリズムの情報発信が必要。 ・知名度向上とブランド化を進めるため、国のナショナルサイクルルート指定に向けた環境整備が必要。
(2) 事業改善の方策
①観光業における人材確保・人材育成の推進 ・観光事業者における生産性の向上に向けて「現場レベルでの業務効率化」と「経営者層における高付加価値化」の双方の観点から経営改革を行うことのできる観光人材育成を図る。 ②信州ユニバーサルツーリズムの推進 ・県内取組地域の拡大に向けて、先進事例の紹介等を通じて、市町村やDMO・観光協会に信州ユニバーサルツーリズムに取り組む意義や取組方法の普及に取り組むとともに、専門人材の育成や専門機器の導入補助等のサポートを実施していく。 ③Japan Alps Cyclingブランドの構築 ・Webサイトの改修による掲載情報の充実化や、県内サイクルコースと連携した情報発信を継続する。 ・区間、地域ごとルートの特色・ターゲットを明確化し、それぞれに特化したプロモーションを実施する。 ・ナショナルサイクルルート指定に必要な取組を、関係者と協力・連携のもと推進する。

事業番号	08　01　03

細事業一覧（令和６年度実施事業分）

□当初要求　□当初予算案　□補正予算案　■点検

事　業　名	観光業における受入環境向上事業	部局	観光スポーツ部	課・室	山岳高原観光課、観光誘客課

細事業No.	細事業名	R4年度決算額	R5年度決算額	R6年度決算額
1	**観光業就業促進・生産性向上対策事業**	1,203 千円	5,199 千円	22,314 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和６年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	持続可能で稼ぐ観光業の実現に向けた観光人材育成	委託	観光業が持続可能で稼ぐ産業へと発展するため、市場変化への対応や人材定着のための労務改善等に向けた人材育成プログラムを実施
			人材育成講座開催数　５回
2	観光人材確保に向けたインターンシップの実施	委託	観光業の人材確保を後押しするため、学生向けに各地域の特徴を生かしたインターンシップを実施
			県内観光地へのインターンシップ参加者数　25人（３地域）
3	信州おもてなしマイスター等の活動支援	直接	信州おもてなしマイスター間の交流促進とおもてなしの向上に向け、マイスターの活動共有やおもてなしに係る講義等を実施
			交流機会開催数　１回
4	宿泊業の人材確保・業務効率化モデル事業	委託	宿泊業の持続可能な経営を実現するため、業務の細分化による短時間勤務を通じた地域内の新たな人材確保や、業務の効率化・生産性の向上を促すモデル事業を実施
			業務の細分化・効率化実施事業者数　11社

細事業No.	細事業名	R4年度決算額	R5年度決算額	R6年度決算額
2	**ユニバーサルツーリズム推進事業**	2,540 千円	3,936 千円	2,705 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和６年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	実務人材育成講座の開催	負担金	信州大学と連携し、信州ユニバーサルツーリズムに関する専門知識や専門機器の取扱技術等を持ち、旅行商品化の企画ができる実務人材を育成
			人材育成講座数　３講座（回）
2	学習旅行実証事業の実施	負担金	信州大学と共同で、県内小・中・特別支援学校等との連携の下、信州ユニバーサルツーリズムの学習旅行の商品化に向けた実証事業を実施
			実証事業に取り組む学校数　７校
3	アウトドア用車椅子等補助事業	補助金	信州ユニバーサルツーリズムの取組に要する専門機器(アウトドア用車椅子)を導入するための補助を実施
			補助件数　１件

細事業No.	細事業名	R4年度決算額	R5年度決算額	R6年度決算額
3	**Japan Alps Cyclingブランド構築事業**	4,150 千円	3,000 千円	3,177 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和６年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	Japan Alps Cyclingプロジェクトへの負担金拠出	負担金	県内でサイクルツーリズムの推進に取り組むJapan Alps Cycling プロジェクトとの連携により、総合サイト「Japan Alps Cycling」による情報発信や、県１周ルートのPRイベント等を実施
			PRイベント開催数　１回

細事業No.	細事業名	R4年度決算額	R5年度決算額	R6年度決算額
4	**信州フィルムコミッションネットワーク推進事業**	6,108 千円	9,275 千円	9,513 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和６年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	ロケ誘致活動や信州フィルムコミッションネットワーク活動の推進	負担金	映画、番組等県内ロケの誘致や市町村等によるロケ受入への支援のほか、県内撮影作品のＰＲを実施。また、フィルムコミッションに取り組む市町村、団体等で構成する信州フィルムコミッションネットワーク連絡会議を運営
			連絡会議開催数　４回